

株式会社 白馬館

索道安全報告書 (平成 29 年度版)

平成 30 年 7 月 1 日発行

利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。

当社は経営理念の第一に安全確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき輸送の安全の実態について自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

株式会社 白馬館 代表取締役社長 松沢 貞一

1. 基本方針と安全目標

a. 基本方針

当社の経営理念の第一は安全確保です。

安全基本方針を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

- 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（本規則含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともに、これを遵守し厳正・忠実に職務を遂行します。
- 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- 職務の実施にあたり推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- 事故・災害が発生した時は、人命救助を最優先に行動し速やかに安全適切な処置を取ります。
- 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

b. 安全目標

第 21 年次索道輸送安全目標（平成 27 年より 29 年）は次表のとおりです。今年度は事故及び人身障害はありませんでした。引き続き目標達成に向けて取り組みます。

| 区 分 | 項 目 | 内 容 |
|--------|------------|-------------------|
| 定量的な目標 | 設備不具合による事故 | 乗客の死亡を伴う事故を発生させない |
| | 人身障害事故 | 3 年間の発生件数を 0 件とする |

2. 事故等の発生状況とその再発防止措置

- 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成 29 年度、索道運転事故はありません。

- 災害（地震や暴風雨、豪雨など）

平成 29 年度、災害による運行停止はありません。なお、安全確保のため強風等の影響により運行を停止した日がありました。

- インシデント（事故の予兆）

平成 29 年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

- 行政指導

平成 29 年度、行政指導はありません。

3. 輸送の安全のための取組み

a. 人材教育

当社では、輸送や皆様の安全に役立つようシーズン営業開始前に施設及び取扱いについて安全教育を実施しています。



b. 緊急時対応訓練

毎年、シーズン前に職員一同にて救助訓練を実施しています。



c. 安全のための投資と支出

平成 29 年度は安全維持・向上のため、営業収入に 1 割を目処に施設の修繕費に充てています。

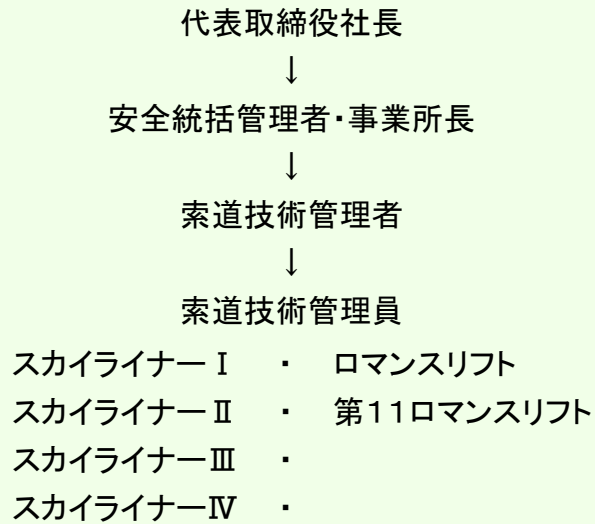
d. 整備

握索機のオーバーホールをシーズン後に行なっています。



4. 当社の安全管理体制

- 社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にします。



| 役 職 | 責 務 |
|---------|---|
| 社 長 | 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う |
| 安全統括管理者 | 索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する |
| 索道技術管理者 | 安全統括管理者の指揮の下、索道全般の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上及び係員教育等の事項に関する業務を管理する |
| 索道技術管理員 | 索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行を管理、施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する |

5. 利用者の皆様へのお願い

- リフト乗車時の注意事項
 1. 乗り方に慣れないお客様は係員にお申し出下さい
 2. 空き缶・たばこの吸殻・その他物品をご乗車中のリフトから投げ捨てないで下さい
 3. 搬器から飛び降りたり搬器を揺らさないで下さい
 4. 衣服・携帯品・髪の毛などが施設に巻きつかないように注意して下さい
 5. 改札後は係員の指示に従って下さい

6. ご連絡先

- 〒399-9422
長野県北安曇郡小谷村千国乙12840-1
株式会社 白馬館 梅池事業所 お客様係
TEL.0261-83-2112 FAX.0261-83-2744